

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 みのり 組	5 月 14 日 ( 水 )	抜井 彩英

## ● 実施計画

活動テーマ	
サイエンス ～自然～ 公園にあるものを調べよう①	
活動テーマに関する 日頃の興味関心について	
<p>普段の戸外活動でも自然のものに触れて、積極的に遊んでおり、見つけたものを友達や保育者に伝えて喜ぶ姿が見られる。図鑑を見るのも好きで、絵本の時間などに好んで見ている様子。</p>	
活動スケジュール	環境設定 ・ 準備物
時間	内容
10:00～10:10	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園にはどのようなものがあるか話し合う。</li> <li>子どもたちの意見をホワイトボードにまとめる。</li> <li>公園へ行って話し合ったものがあるか見に行く。</li> <li>どこの公園に行くか、何を持っていか話し合う。</li> </ul>
10:10～10:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園で興味のある生き物や、植物を探す。</li> <li>見つけたものを共有し、写真に撮る。</li> <li>それぞれ好きなものを探し、わかったこと、気づいたことを伝え、会話をしながら活動する。</li> </ul>
10:30～10:40	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園で見つけたこと、感じたことを話し合う。</li> <li>友達の話聞いた感想を伝える。</li> <li>今回、調べたり、記録をとった植物などをどうするか話し合う。</li> <li>図鑑や地図の作成を提案する。</li> <li>次回は公園でどのようなものをもっと探したいか、調べたいか考える。</li> </ul>
<p><b>【環境設定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園や園庭など、安全に探索できる場所を選定する。</li> <li>公園内のルールを確認する。</li> <li>事前に探索ルートを決め、安全面に配慮する。</li> <li>子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。</li> <li>正解を求めるのではなく、予想し考える態度を大切にする。</li> </ul> <p><b>【活動使用教材】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>収集したものをを入れる袋</li> <li>リュック</li> <li>iPad</li> <li>ホワイトボード</li> <li>ホワイトボードマーカー</li> </ul> <p><b>【事前準備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>植物が多くある公園や場所を選定する。</li> <li>子ども達が日頃から図鑑に触れる機会を作る。</li> <li>iPadの残量を確認。</li> <li>探究活動に使用する用具の準備。</li> <li>図鑑の見本に載せる植物や写真を用意する。</li> <li>図鑑用の冊子見本を作成。(3～4ページ)</li> <li>図鑑用の台紙、冊子にするための製本テープ</li> <li>セロテープや糊</li> <li>筆記用具(鉛筆、色鉛筆、カラーペンなど)</li> </ul>	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・公園にどのようなものがあるか話し合うと、遊具や、活動で調べた植物などの名前が上がっていた。</p> <p>・2グループに分かれて探索に出かけると、どこに行きたいかを周りの子にきちんと伝え、「あっちにきのこがあるんだよ」などと知っていることを話して動く姿が見られた。</p> <p>・「先生これ撮って」と見つけたものを具体的に色などの特徴を話して伝えてくれ、自分の発見を喜んでいました。</p>	<p>【子どもの姿・声】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「フラワー公園なら色んなお花があるから見に行きたい。」と探索に行きたい理由も合わせて言えた。</li> <li>・「毒キノコがあるんだよ」</li> <li>・「あの辺にアリがたくさんいる」と知っていることを友達に話す姿が見られた。</li> <li>・「この下ならダンゴムシがいるかも」と植木鉢を動かしたり、「アリを捕まえたい」と虫にも積極的に触れていた。</li> <li>・「これって何に使うものなの？」と日時計を気にしていた。</li> </ul> <p>【保育者との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なんで植木鉢を動かそうと思ったの?」「どうやったらアリを捕まえられるかな」と問いかけを通して思考を促した。</li> <li>・カメラ使用前には「何を撮る?」と考えを整理できるように声を掛けた。</li> <li>・図鑑の調べ方が分からない子には、一緒にキーワードを探しながら調べる経験を共有した。</li> <li>・気になったことや気づいたことは全体で共有し、見つけた自信に繋がるようにした。</li> </ul>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・普段から自分たちで自然のものに触れたり、図鑑を気に入っているのが、今回の活動にも意欲的に取り組んでいる様子だった。公園内のあちこちをみんなで回るのが楽しかったようで、ワクワクした表情で公園内を探索していた。</p> <p>・木の実や葉っぱ、花にも興味を示し、「名前がわからないから知りたい」と調べることを楽しみに、探索することもできていた。</p>	<p>普段遊んでいる公園で草花や虫などの自然に目を向けることで、今後の遊び方に発展が見られると感じた。</p> <p>特に配布された図鑑はお気に入りで大切に使用する姿が見られていた。今後図鑑を使用したことによる新たな発展を期待している。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 みのり 組	8 月 5 日 ( 火 )	抜井 彩英

● 実施計画

活動テーマ		
たべもの ~水~ 水ってなに？		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
水遊びで水に触れる中で、「冷たい」「こっちはあったかい」など温度に気づいたり、バケツに水をためて上から流したり、夏ならではの遊びの中で楽しんでいる。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:00~10:10	・水とは何かを問いかける。	<b>【環境設定】</b> ・安全に探究できるよう環境を設定する。 ・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。 ・正解を求めるのではなく、予想し考える態度を大切にする。
10:10~10:20	・子どもたちの意見をホワイトボードにまとめる。	
10:20~11:00	・水をコップに入れて観察したり、色水にして変化を見る。  ・水の流れを探究する。	
	・牛乳パックを使用し、傾斜を作って水の流れを見る。  ・勢いよく流れた時、ゆっくり流れた時、船を流した時の違いについて意見を発表する。 (ホワイトボードにまとめる。)	<b>【活動使用教材】</b> ・水 ・絵の具 ・透明のプラスチックコップ ・牛乳パック ・船の玩具 ・タライ ・バケツ ・ホワイトボード ・ホワイトボードマーカー
		<b>【事前準備】</b> ・水を扱う活動になるため、水で濡れる点に注意し、転倒などの事故を防ぐよう環境を設定しておく。 ・牛乳パックで傾斜のあるコース(スロープ)を用意しておく。 ・牛乳パックは子ども達が持てるようにサイズを考えて作る。 ・探究活動で使用する用具の使用方法を設定しておく。

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・水についての話を聞くと、身近に使っている手洗い場や、トイレなどの場所が多く上がった。前回のすくわくで天気の実験をしていたこともあり、雨という言葉も出た。</p> <p>・水遊びの一環として、水着で行ったのでいつもと違った雰囲気的活動にワクワクした様子だった。</p> <p>・子ども達が牛乳パックを持って並び、タライまで水を運ぼうという遊びで水の流れを見ようと実験を行った。</p>	<p>【子どもの姿・声】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「色水はなんで色がつくの？」と気になっている様子だった。</li> <li>・どうやったらタライまでこぼさずに水を運べるかなと考えて、牛乳パックの位置や角度を気にしながら協力して取り組んでいた。</li> <li>・勢いよく水を流すと「早い！」と言いながら大興奮だった。</li> </ul> <p>【保育者との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲーム感覚で遊びながら水に触れることで、仲間意識も生まれ、協力して何かをすることに楽しみ、夢中になることが出来ていた。</li> <li>・子どもが疑問に思ったことに対して、「なんでそうなるんだろう？」と問いかけを重ねることで、さらに観察や考察が深まるように意識した。</li> <li>・船の玩具を用意したり、水の勢いを感じられるものを用意したことで、変化に気づきやすいように工夫した。</li> </ul>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・水遊びを行う中で、水に興味を持って遊んでいる様子だったので、室内での実験という名の水遊びに大興奮だった。</p> <p>・水に触れながら、流れの勢いの違いや、色水実験なども行うことができ、更に興味を深める活動を行うことが出来た。</p> <p>・保育者が水を流すときに、ゆっくりは「ちよろちよろ」、勢いよく流すときには「ザー」という言葉を使うと、子ども達が手を洗う時などにも勢いを見て同じ言葉を言うようになっていた。</p>	<p>気温により、戸外での水遊びができない為、良い機会であった。</p> <p>実験という言葉にワクワクしている子ども達の姿を見ていると、すくわく探究活動を楽しみながら参加している様子が伺える。</p>

実施クラス				実施日		実施保育者名
5	歳児	みのり	組	11	月 6 日 (木)	山田 彩英

## ● 実施計画

活動テーマ		
アート～色のふしぎ～ これは何色？		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
好きな色がそれぞれあり、日々洋服の色を友達と伝え合ったり、折り紙の色を選んだりと色に触れて生活している。絵の具の活動も好きで、積極的に製作活動に取り組む姿が見られている。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:00-10:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の活動で「いろおに」をした話を振り返り、保育室内の色に関心を持てるようにする。</li> <li>色の持つイメージを子ども達に問いかけ、ホワイトボードに意見をまとめる。</li> <li>色の原料の写真を見せ、感想を子ども達同士で共有する。</li> </ul>	<b>【環境設定】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちがたくさんの色を見つけやすいように、環境を用意する。</li> <li>子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。</li> </ul> <b>【準備物】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>赤青黄色紫白黒などの原料の写真 (赤…カイガラムシ、青…ラピスラズリ、黄色…クチナシ、紫…アカニシ貝、白…ハマグリ、黒…墨)</li> <li>寒色暖色中間色の色見本</li> <li>絵の具セット(人数分)</li> <li>バケツ(グループ分)</li> <li>白い画用紙</li> </ul>
10:15~10:50	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人1つ絵の具セットを配布し、好きな色を作って白い画用紙にお絵描きをする。</li> </ul>	<b>【事前準備】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>色の効果、寒色暖色中間色について事前に学習して理解を深めておく。</li> </ul>
10:50~11:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい色ができたら保育者に伝えたり、友達と共有する。</li> <li>新しい色の名前を自分達で考え、1つのカラーチャートにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>色の原料について事前に学習して理解を深めておく。</li> <li>赤青黄色紫白黒などの原料の写真。 (赤…カイガラムシ、青…ラピスラズリ、黄色…クチナシ、紫…アカニシ貝、白…ハマグリ、黒…墨)</li> <li>寒色暖色中間色の色見本を用意する。</li> </ul>

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>色のイメージを聞くと、物の色で答える子が多く「赤は太陽だから暑い」「青は水だから冷たい」など物と関連付けて考えていた。</p> <p>色の原料を見せると驚いた様子で、友達同士でお喋りしていたので、意見を共有できるようにと時間を作った。</p> <p>1人1つ絵の具セットを配布し、自由に色を作ってみようと、声掛け新しい色探しを楽しめるようにした。</p> <p>絵の具の色の混ぜ方も伝えて個人対応をした。</p>	<p>【子どもの姿・声】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色の原料を写真で知ると「え、虫？」「貝殻からできてるんだ」と驚いた様子だった。</li> <li>・絵の具セットを1人1つあることを喜び、自分なりの色を作って楽しんでた。</li> <li>・新しい色ができると、友達や保育者に報告して喜んだ。</li> </ul> <p>【保育者との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色の原料を知って、友達と共有したいという様子だったので、意見を話す時間を作った。</li> <li>・1人1つ絵の具を用意したことで、喜びながら活動に取り組めた。</li> </ul>

● 振り返り

保育者側の気づき	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵の具を使った活動が好きな子達なので、原料を知った時には驚いていたが、「色が何かからできているか考えたことがなかった」と新たな気づきになった。</li> <li>・子ども達の好きな活動で、色で遊びたかったので絵の具セットは大喜びして良かった。</li> <li>・新しい色ができたら保育者や友達と共有するように活動を計画すると、嬉しそうに伝え合う姿が見られ、より意欲が増していた。</li> <li>・新しくできた色は保育者が1つの紙にまとめ、自分のオリジナルの色として名前を考え、掲示することで自分で考えた喜びを共有することができた。</li> </ul>	<p>色の原料について知ること、今後絵の具を使用する際に何を使用しているのか、何かで代用できるのか等の発想から発展が期待できる。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 みのり 組	1 月 28 日 ( 木 )	山田 彩英

## ● 実施計画

活動テーマ		
おかね ～おかねってなんだろう～ お金ってどんな形？		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
買い物ごっこをしたことで、お金のやり取りに興味を持ち、ごっこ遊びの中で楽しむ様子が見られたり、お釣りを計算する時の計算に興味を持っている様子だった。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
13:30～13:40	・お金はどんな形、色、模様かを考えてみる。  ・日本のお金を観察することを伝える。 模擬貨幣がおもちゃであることを明確に伝える。  ・模擬貨幣を配り、自由に観察し気づいたことを発表する。(色、形、数字、絵、触感、重さなど)	【環境設定】 ・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作り、一人ひとりの意見を尊重し、受け止める。 ・正解・不正解を明らかにするのではなく、多様な捉え方や考える姿勢・態度を大切に。  【活動使用教材】 ・模擬貨幣(紙幣、硬貨) ・画用紙(白、八つ切り、1枚/人) ・筆記用具(色えんぴつ、クレヨンなど) ・ホワイトボード ・ホワイトボードマーカー
13:40～14:00	・自分だけのオリジナルのお金について、形や値段、絵などを考える。  ・アイデアを基に、オリジナルのお金を描く。	【事前準備】 ・模擬貨幣をクラス人数分以上用意しておく。 ・デザインのヒントになる図鑑等を用意しておく。
14:00～14:10	・描いたお金について発表し、友達と作品を見せ合い、工夫したところを伝える。  ・次回、オリジナルのお金も使い、「お店屋さんごっこ」をして買い物体験をすることを伝え、期待を持ってようにする。	

## ● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・実際に買い物する時の支払い方法を改めて確認した後、模擬紙幣を配り、実際のもの比べてどうかなど、観察して気づいたことを発表した。実際のお金の細かな絵柄や、模様なども答えられる子がおり、「今日帰ったら見みよう」と積極的な声が上がっていた。</p> <p>・観察後に自分達でオリジナルの紙幣を作ることを伝えると、「お金だからいくら数字を書かないと」「真ん中に丸がある」「人の顔がある」など気づいたことを発表し合った上で、自分の紙幣には何を書かかを決めていた。</p> <p>・完成するとこだわった所を友達と伝え合う姿が見られ、発表も自信をもってできた。</p> <p>・次回自分たちの紙幣を使って遊ぶことを伝えると、楽しみにする様子が見られた。</p>	<p>【子どもの姿・声】</p> <p>・模擬紙幣を見て「本物は斜めにすると顔が浮かぶんだよ」「この偽物も本物と同じ人の顔が書いてあるね」「小さいけど本物みたい」とよく見て興奮した様子だった。</p> <p>・友達と積極的に見つけたことを伝え合い、一緒に活動を楽しんでいた。</p> <p>・お金をいっぱい集めて持った子が「お金持ちになった」と嬉しそうに話す姿が見られた。</p> <p>・「0をたくさん書けば大きいお金になるから」とオリジナルの紙幣にたくさん書き入れる子もいた。</p> <p>【保育者との関わり】</p> <p>・模擬紙幣の観察時に細かい部分まで観察できるように声掛けを工夫した。気づいたことは友達にも共有するように伝え、みんなで観察できるようにした。</p> <p>・オリジナルの紙幣は好きなものを作るように、あえて決まりは決めず、「お金を作るなら何が書いてあった方がいいかな」と問いかけ、値段の設定を出来るようにした。</p> <p>・自分の作った紙幣のこだわりを伝えられるよう、保育者も積極的に質問し、子ども達が発言しやすいようにした。</p>

## ● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・お金を観察することで、今まで当たり前に使っていたものを改めて見つめ直すことができた。子ども達も「帰ったら教えてあげよう」「見せてもらってくる」と意欲的で、模擬紙幣の観察を通してお金への興味が増していた。</p> <p>・「買い物ごっこまたやりたい」と自分達で作ったものも使って遊びたがっているため、お店屋さんの商品も今後工夫しながらクラスで楽しめたらと考えている。</p> <p>・自分で考えて作ったオリジナルの紙幣も気に入っているようなので、模擬紙幣と合わせて一緒に遊ぼうと期待を持った声掛けを行った。</p>	<p>買い物ごっこを通して楽しみながらお金について学ぶことができていた。お金の使い方だけでなく、何を売ったら売れるのかまで考えて製作する姿が見られて子ども達主体の発展が感じられた。</p>